土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	福川河川改修事業に伴う検討業務委託（2工区）
事業または工事名	
調査目的及び調査対象	河川 その他

ボーリング名	No.10	調査位置	広島県福山市神島町			北緯	34° 29′ 01.1700″
発注機関	広島県　東部建設事務所	調査期間	2021年06月28日～2021年06月30日			東経	133° 20′ 26.7700″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 7.47m	角度	180°（上）90° 0°（下）	方位	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	14.00m	使用機種	試錐機：東邦　D1-C	エンジン：ヤンマー　TF120M	ポンプ：東邦　BG-3CR		

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	6.32	1.15		盛土（シルト混じり砂）		暗灰			細砂主体。部分的に木片、φ10mm程度の亜角礫含む。	
2–3	3.87	3.60		盛土（砂混じりシルト）		暗褐～暗灰			含水低、粘性中位のシルト主体。中～細砂を混入する。 GL-2.20～2.50m間、細粒分が卓越する。 GL-2.75～2.90m間、含水比が特に高い。	
4	2.97	4.50		盛土（シルト混じり砂）		黄褐			粗～中砂主体。 GL-3.70～4.00m間、緑色を呈す。改良材である。 GL-4.40～4.50m間、白色を呈す薬材である。	
5	2.37	5.10		シルト質砂		黄褐～暗褐			細砂主体。深度下部は細粒分卓越する。	6/29 4.55
	1.77	5.70		砂混じりシルト		暗灰			含水低、粘性中位のシルト主体。細砂を混入する。 GL-5.20m付近は緑色、GL-5.50～5.60m間は白色の改良材である。	6/30 4.68
6–7	0.22	7.25		シルト混じり砂		暗灰～淡青灰			粗砂主体。 GL-6.00～7.00m間、白色を呈す薬材が縦方向に認められる。 GL-7.00～7.20m付近、細砂を主体とする。	
8	-0.48	7.95		シルト質砂		暗灰			細砂主体。GL-7.30m付近、細粒分卓越する。 GL-7.30～7.60m間、白色を呈す薬材に置き換わっている。	
9–11	-4.08	11.55		礫混じり砂		黄褐			粗砂主体。φ10mm以下の亜角礫を混入する。全体的に白色を呈す薬材が認められる。	
12	-4.53	12.00		砂礫		黄褐			φ10mm以下の亜角～亜円礫を主体とする。基質は粗砂である。全体的に白色を呈す薬材が認められる。	
13–14	-6.53	14.00		風化花崗岩		青灰			指圧により土砂化する。GL-12.00～13.00m間、白色を呈す薬材が縦方向に認められる。	

標準貫入試験

深度(m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験（現場透水試験）	削孔月日
					6/28
10.00	Tr10-1	TP	土粒子含水比 沈降粒度 湿潤密度	10.00 k=9.18E-7m/s 11.00	6/29
~~10.00~~ 11.00	Tr10-2	TP	土粒子含水比 沈降粒度 湿潤密度 UU	k=9.10E-7m/s 12.00	
					6/30